

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公表番号】特表2008-532152(P2008-532152A)
 【公表日】平成20年8月14日(2008.8.14)
 【年通号数】公開・登録公報2008-032
 【出願番号】特願2007-557460(P2007-557460)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月29日(2008.12.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予約の登録システムで、その中では、表示装置上の種々のリンクをしたスクリーンの中で、クライアント及び／又は資源に関するいくつかのデータを記入し、又は、選択し、及び、表示することができ、又、その中では、前記スクリーンの少なくともひとつの上に、ウィンドウが表示され、それが予約の登録手順のステップについて実施すべきクライアント又は資源に関する処置についての少なくともひとつのメッセージから成り、又、その中では、前記予約の登録手順の次のステップを実施できる前に、前記メッセージを確認するための手段が設けられている予約の登録システム。

【請求項 2】

処置に関する前記メッセージが、前記の処置が関係するクライアント又は資源に関するデータから成っていることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

初期値により又は、命令を受けて、患者識別要素の履歴をメモリーから検索して、かつ、表示することを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

表示装置上に表示されたいくつかのリンクをしたスクリーンで、その中では、クライアント及び／又は資源が予約の登録手順内に参与しているクライアント、及び／又は、資源に関するデータを入力し、選別する項目と、

少なくとも 1 個のウィンドウが少なくとも 1 件の前記スクリーンの上に重ねて表示されること、前記ウィンドウは予約の登録システムのステップに関連して実施すべきクライアント又は資源に関係した処置に関する少なくとも 1 件のメッセージから成る項目と、

ユーザーの相互作用により前記メッセージを確認するための手段。前記手段は、予約の登録手順の次のステップが確認の後でのみ実行しうるように配置されている項目と、

を有する予約の登録システムのためのユーザー・インターフェース、

【請求項 5】

前記表示されたメッセージが、前記処置が関連するクライアント又は資源に関するデータから成ることを特徴とする請求項 4 に記載のユーザー・インターフェース。

【請求項 6】

追加的に、ユーザーによる活性化の際に患者識別要素の履歴をメモリーから検索するよ

うに配置された手段を有することを特徴とする請求項 4 に記載のユーザー・インターフェース。